

コンセールのと 完成記念イベント

〈日時〉4月26日(土) 10:30～
 〈会場〉能登町観光・地域交流センター
 「コンセールのと」
 2階多目的ホール

○10:30～ 竣工式式典
 イベント

- ・能登町音頭披露
- ・弥栄太鼓披露
- ・ふるまい鍋など

式典には「のっとりん」も登場します。



○13:30 完成記念トークショー

※トークショーの座席数には限りがありますので
 ご了承ください。

主催：能登町

後援：能登町教育委員会

☎建設課 ☎ 76-8304

杉山愛さんによるトークショー開催

杉山 愛
 (すぎやま・あい)
 元プロテニスプレーヤー
 ／スポーツキャスター



4歳でテニスを始める。15歳のときに日本人初の世界ジュニアランキング1位を獲得し、17歳でプロに転向、以後17年間にわたってプロツアーを転戦してきた。シングルス492勝(優勝6回)、ダブルス566勝(優勝38回)、グランドスラムのダブルス優勝4回。

ダブルスでは世界ランク1位に輝き、オリンピックにも4回出場。グランドスラムのシングルス連続出場62回の世界記録を樹立するなど、日本を代表するプロテニスプレーヤーのひとり。

専属コーチを務める母と、二人三脚で世界に挑む姿も話題を集めた。2009年に現役を引退し、現在は様々な後世育成事業を手掛ける他、スポーツキャスターとして活動するなど、多方面で活躍中。世界一の連続出場記録を生み出した継続力の秘訣、プロフェッショナルとしての勝負の極意、また、過酷な日々の中で行ってきた健康・自己管理法や大スランプを乗り越えたエピソードなど、プロアスリートとしての経験談は必聴です。



能登町観光・地域交流センター コンセールのと

4月26日(土) 旧宇出津駅跡地にオープン

待望の交流施設が旧宇出津駅跡地に完成。

多目的ホールや公民館、図書館のほか、観光情報を発信する「たびスタ」も入居し、「海、山、祭り、いいとこいっぱい能登町」のキャッチコピーにのせて、町の魅力を町内外に発信します。

4月26日の完成記念イベントには、元プロテニスプレーヤーの杉山愛さんのトークショーも開催されます。

コンセールのと 建設概要

「コンセールのと」とは、フランス後で「集う」という意味合いで、より多くの町民が集まる場、観光情報拠点としての役割を期待して、採用されたものです。

〈建設場所〉能登町字宇出津ト字 29 番地 2
 〈構造〉大規模木造 2 階建(最高高さ 12.81 m、軒高 8.35 m)
 〈敷地面積〉 2,049.91㎡
 〈建築面積〉 1,249.24㎡
 〈延床面積〉 1,996.61㎡(内、本体 1,911.03㎡)
 (1 階 1,002.06㎡、2 階 908.97㎡、キャノピー 85.58㎡)
 〈施設〉
 [管理区分]

- ・社会教育施設(公民館、図書館) 1,560.50㎡
- ・観光情報施設(観光情報発信) 228.03㎡
- ・公共交通施設(バス待合所、公衆トイレ) 122.50㎡



「コンセールのと」ロゴマーク

宇出津の町並みをイメージした緩やかな曲線の建築意匠をモチーフに公民館・図書館と観光情報の2つの施設をつなげる意味を込めて表現しました。

能登観光情報ステーション たびスタ

景勝地や祭礼などの観光情報案内や、特産品販売所や飲食エリアなどを備えた能登町の観光情報発信の拠点「能登観光情報ステーションたびスタ」が1階にオープンします。

この名前は、駅(ステーション)の跡地であることや観光情報の発信地であることから、訪れる人が自分の能登町の旅のスタイルを創り、旅をスタートして欲しいという願いを込めて名付けました。



▶「聖地巡査」コーナー

▼物産販売コーナー



中央図書館・宇出津公民館

中央図書館・宇出津公民館も「コンセールのと」に移転。新しい施設は、4月26日の完成式典後から供用開始予定です。翌日の27日(日)も開館します。

- ・中央図書館 ☎ 62-8520 (4月26日から)
- ・宇出津公民館 ☎ 62-3458

〈移転に伴う臨時休館〉

宇出津公民館 4月25日(金)

中央図書館 4月1日(火)～25日(金) (図書館の詳細は33頁)

☎教育委員会事務局 ☎ 72-2509



▲中央図書館内イメージ

施政方針

3月の議会定例会で持木町長が平成26年度の施政方針を述べました。
合併10周年を控える町の羅針盤「施政方針」を抜粋します。

平 成26年度は、町村合併から10周年という大切な節目の年度であり、次の10年のために一歩一歩確実な歩みを進めていくための大事な年になります。

各基本計画の進捗状況を検証、確認し、「町民の皆様との協働のまちづくり」を基本に、さらなる住民の福祉の向上とより一層の町勢発展に取り組みたいと考えています。

昨年は、奥能登住民の念願でありました「能登有料道路」が無料化され、「のと里山海道」として運用が開始されました。また、来年の3月には、北陸新幹線の金沢への開業が

予定されており、能登空港との連携も合わせ首都圏からのさらなる交通アクセスの利便性も向上し、より一層能登地域への観光客の増加が期待されます。

町においても受入体制の強化を図るため、わかりやすい交通・観光看板を整備するほか、珠洲市との広域公共交通の実証運行、別所岳広域観光施設や旧宇出津駅跡地にオーブン予定の能登町観光・地域交流センター「コンセールのと」を拠点に、「海、山、祭り、いいとこいっぱい能登町」を観光キャッチコピーとして、町の観光情報の発信に力を入

れたいと考えています。地域の活性化につながる事業、子育てしやすい環境整備、修学旅行やスポーツ合宿の誘致などソフト事業も制度の充実を図り、積極的に推進していきたいと考えております。

その他、災害に強いまちづくりを進めるため、昨年に引き続き、計画的にインフラや建築物の耐震化などハード面の整備をはじめ、庁舎等整備に係る財源の積み立てを行ったほか、自主防災組織の育成や土砂災害ハザードマップの作成などソフト面も含めて、さらなる防災力の向上に努めます。

予算編成方針と予算規模

町の財政状況は、これまでの、集中改革プランや定員適正化計画の実施による経常経費の削減に加え、計画的な長期債繰上償還の実施により、公債費や町債残高の縮減を図り、財政指標については、一定の改善効果をあげています。

しかし、今後歳出面では、高齢者増や少子化対策による社会保障関係経費の増加をはじめ、近年の大型プロジェクト実施による公債費の増加が予想されます。歳入面では依然、地方交付税などの依存財源に頼る体質であり、財政力を示す指標は低水準で推移しています。健全で持続可能な財政運営を行うため、経常経費や公債費の抑制について、引き続き注意し、身の丈にあった簡素で効率的な行財政運営に努めていかなければならないと考えています。

予算編成方針では、このよ

うな厳しい状況ではありますが、昨今の地域経済においては、いまだに国の経済政策の恩恵が十分に届いていないことや10周年という節目の年を迎え、さらなる能登町の飛躍を願い一体感の持てるような事業を進めるべく、一般財源のマイナスイーリングは行わず、一定の公共事業の確保に努め、能登町の成熟期にむけての新しい社会環境に適切した、公共の福祉のための事業を実施することとする予算編成を行いました。

平成26年度当初予算の規模は、一般会計が前年度当初予算対比1・2割増の142億6千百万円、国民健康保険特別会計など10特別会計予算の総額は、2割減の75億7109万9千円、水道・病院2企業会計予算の総額は、18・5割減の37億4998万5千円となり、全会計を合わせた予算の総額は、3・1割減の255億8208万4千円となっています。

潤いある暮らしを支える快適なまちづくり

町民の暮らしを支えるまちづくり事業として、「生活交通対策事業」では、新たに、旧宇出津駅前整備との連携を保つため、宇出津新港において、バス待機所整備費を計上しました。路線バス運営費、バス待合場整備費の補助金や「予約制乗合タクシー事業」を継続し、交通弱者に対し利

便性の向上に努めます。高齢運転者の交通事故防止を図るため、運転免許証を自主的に返納した方への支援費を新たに計上しました。

来年3月の北陸新幹線の金沢開業に合わせ、開業効果を引き出すため、広域公共交通シャトルバスの実証運行を珠洲市と共同で行う予定にしています。

能登空港利用促進事業では、「利用促進」「誘客促進」補助金の継続をはじめ、旅行

先での移動困難者の利用促進を図るため、貸し切バス借上代を助成する「地元団体利用促進助成金」も継続します。

防災総務費では、被災地である金石市への職員派遣費をはじめ、東日本大震災を教訓として防災力の強化を図るため、自主防災育成事業補助金を増額するほか、防災士資格取得支援や防災士研修会を予定しています。

また、防災計画に基づく防災備蓄品整備費および避難路



地域活性化につながる事業を積極的に推進

整備費を継続して計上したほか、新たに防災行政無線の情報伝達方式などの調査費を計上しています。

埋立処分場管理費では、施設の延命措置を図るため、能都埋立処分場のモニタリング調査費を計上したほか、施設機械としてホイールローダー導入費を計上しています。

道路橋りょう関係では、住民からの要望に応えた維持管理修繕費を計上したほか、継続路線の事業を促進するため、社会資本整備総合交付金事業および道整備交付金事業について増額計上し、道路関係事業の強化を行っています。

河川総務費では、大雨等による土砂災害発生危険が高まった場合に避難する場所や、注意すべき箇所をまとめた「土砂災害ハザードマップ」を作成し、各戸に配布する所

農業振興対策事業では、町内農家で農業研修を行い、研修後に町内への就農定住を促す「農業インターンシップ事業」の継続や、研修者に対する家賃助成を追加計上しています。

里山の維持保全を図り、地域農業の担い手育成を図るため、農業機械の更新費用の一部に助成する「棚田保全支援事業」も増額計上しました。

地場産業の育成と町内のブルーベリー農家の営農意欲の向上を図るため、「ブルーベリー振興対策事業」の継続や、防鳥ネット整備に対する助成として「産地競争力強化事業」を追加したほか、地域農業を担う経営体や生産基盤となる農地を確保する「青年就農給付金事業」を計上しています。

畜産業費では、能登牛のPR事務費を追加しました。新たな振興策として、能登牛の増頭や施設整備に対する補助金として「能登牛生産体制整備事業」を計上しました。

農業基盤整備では、農業経営の安定化を進めるため、農

要経費を計上しました。

港湾総務費では、新たに小木港情報案内板の設置費を計上しました。

街路整備の「新町通り線街路整備事業」および旧宇出津駅前を中心とした街並み整備の「まちづくり交付金事業」が本年度で最終年度を迎え、街路の地中化工事や情報案内板整備費などを計上しています。

新たに、補助事業の採択に向けた「小木地区都市再生整備計画」の策定費を計上したほか、旧宇出津駅山手線街路整備事業の用地測量等調査費を計上しました。

公営住宅整備事業では、松波地内で梅ノ木団地1棟4戸の建築経費のほか、当目元教員住宅や城野元教員住宅の解体経費を計上しました。

除雪対策では、昨年までの大雪を考慮し、除雪ドーザー

村振興総合整備事業として鈴ヶ嶺地区の暗渠や用排水路整備費を計上し、柳田西部、柳田中央地区及び寺五地区の耕地整理を行う「県営中山間地域総合整備事業」の負担金を計上しています。

「県営老朽ため池整備事業」は、継続事業として引き続き上長尾地区、山中地区および五十里地区のため池整備を行うほか、新規に福光地区、笹川地区の整備を進めます。

鮭尾地区の営農飲雑用水施設を整備する「農山漁村活性化プロジェクト支援事業」についても、引き続き事業を継続し、本年は浄水場の整備を予定しています。

新たな地域活性化策として「小間生地区の紙すき体験施設」の整備に向けた基礎調査費を計上しました。

林業総務費では、新規事業として「里山木の駅プロジェクト」の事業化に係る諸経費を計上しています。この事業は、能登町の自慢でもある美しい里山を後世に残すため、放置されている林地残材の回

の購入費、稼働費を含めた所要経費を計上しています。

消防設備では、無蓋防火水槽の整備を継続するほか、2箇所の耐震性防火水槽整備費を計上しました。

常備消防では、奥能登広域圏消防本部の庁舎や指令センター、デジタル無線整備費の負担金を増額計上したほか、非常備消防では、本年予定されている小型ポンプ全国消防操法大会への出場経費や三波分団の消防ポンプ自動車の整備費を計上しました。

水道施設費では、「ライフライン機能強化事業」として、不動寺、秋吉地区の老朽管改修を予定しています。「簡易水道再編推進事業」では、久田地区の配水管の更新をはじめ国重、源平地区の水道未普及解消事業費を計上しています。

給水区域外の飲料水などを安定的に確保するために、新たに、共同タンク原材料費の支給費を計上しました。

公共下水道事業・宇出津処理区では、長寿命化計画

収を行い、その対価として地域通貨を活用し、里山保全と地域産業の活性化を図る事業です。

林道整備事業では、継続2路線と新規1路線の開設舗装事業、1路線の側溝改修を予定しています。

水産業費では、小規模近代化設備整備事業として、漁業協同組合能都支所に対する、鮮魚選別機ライン整備費を助成するほか、漁船取得に対する融資資金の利子補給についても増額計上しています。

漁港管理費では、小浦漁港や波並漁港の補修工事を計上しています。

商工観光事業では、消費税増税による地元商店街の景気の下振れリスクに対応するため、商工会が行う「プレミアム商品券事業」の上乗せ分に

対し補助金を計上しました。地域産業の育成と活性化支援策として、町内の中小企業等に対し地域資源を活用した取り組みを支援する「地域産業育成・活性化支援助成金」を継続するほか、金沢の「能

により、電源機器などの更新を予定しています。

農業集落排水事業では、瑞穂処理区と小垣処理区の施設の統廃合計画や耐震診断を予定しています。

地の恵みを糧とする活力あるまちづくり

若者の新規雇用を促すため、U・Iターン者および新規学卒者を新たに雇用した企業等に、給与の一部を助成する「雇用促進緊急助成金」や「定住促進助成金」を継続計上しています。

農業総務費では、農林水産業の優良経営と活性化を目指すため、町における一次産業の生産・加工・販売の市場商品や施設整備等の可能性等調査費を新たに計上しました。

また、近年イノシシによる農作物被害が拡大していることから、鳥獣被害防止対策事業費において、新たに狩猟登録費の助成を追加し、防護柵設置費用補助金についても増額計上を行っています。

登里山里海市場」での試食などを通じて情報発信を行う「能登の食材PR促進事業」も継続しています。

能登杜氏や祭り、神社や食文化を織り込んだ旅行商品の開発を行い、交流人口の拡大を図る「能登杜氏の里プロジェクト事業」も継続計上しました。

来年の新幹線金沢開業に向けた誘客促進のため、首都圏で「日本橋・京橋まつり」と連携した開業PRイベントに出展を予定しています。

新規事業として、町内で統一したわかりやすい交通・観光案内看板の整備を予定しています。

観光情報発信関係では、銀座にオープン予定の石川県首都圏アンテナショップや別所岳にオープン予定の広域観光施設の負担金を新たに計上するほか、町のゆるキャラである、「のつとりんグッズ」の作成費をはじめ、能登町のPR用映像作成費やライブ映像カメラの設置費を計上しています。

施政方針

観光施設管理事業では、柳田温泉センター源泉地上設備工事のほか、九十九湾園地の水道設備改修費を計上しています。

公園管理事業では、真脇遺跡公園再整備計画の策定費や柳田植物公園内の看板改修費を計上しています。

健やかでやすらぎのあるまちづくり

社会福祉施設費において、笹ゆり荘の空調設備改修費、山せみ荘の屋根、浴槽天井などの修繕費を計上しています。障害者福祉費では、通院などを簡易にし、在宅福祉の向上を図るために「障害者福祉タクシー助成事業」を継続します。

老人福祉費では、高齢者に対する「在宅長寿祝金」「ふれあい入浴助成事業」を継続し、緊急通報体制等整備事業費を増額計上しています。

新規事業として、無年金者に対し補給金を支給する「養護老人ホーム入所者生活補給金」や、認知症の予防・早期発見・相談対応を行う「認知

特色ある活動事業費」を増額計上しました。

図書館費では、中央図書館の新設にあわせて図書購入費を増額計上しています。

文化財保護費では、10周年記念誌として「能登町の文化財」冊子作成費を計上し、町内文化遺産やドブネ収蔵庫の保存活用基本計画の策定費を計上しています。

真脇遺跡整備事業では、本年度は海岸線のトレンチ調査を予定しています。松波城址整備事業では、気象や土壌のモニタリング調査、保存・展示方法などの調査費を計上しています。

体育施設費では、能都体育館の外壁や藤波運動公園多目的広場のステージ修繕のほか、内浦第2体育館での文化活動に利用できるよう、ステージ設置や更衣室建設工事費を計上しています。

豊かな自然を守り活かすまちづくり

環境にやさしい町づくり推進事業では、グリーンカーテ

症対策総合事業費」を計上しました。

後期高齢者医療費では、「健康なまちづくり」を推進するため、新たに地元商店街と連携し、健診受診率アップを図る「すこやかまちづくり推進事業費」を計上しました。

児童福祉費では、「すこやかあかちゃん祝い金」で、第1子、第2子および第3子以降に区分し、交付基準を見直し増額計上しています。

中学生までの入院、通院費に対する「子ども医療費給付事業」を継続し、学童保育事業でも、受入体制を拡充し増額計上しました。

子ども子育て支援法に基づく平成27年度から5年間の「子ども子育て支援事業計画」の策定費を計上しています。

予防接種事業では、麻疹風疹、日本脳炎、ポリオ、インフルエンザ、ヒブ、子宮頸がん、小児肺炎球菌などのワクチン接種等を継続計上したほか、新たに定期接種となる成人肺炎球菌、水痘ワクチンを追加計上しています。

ン設置費用や木質ペレットストーブ・薪ストーブおよび生ごみ処理機の購入費助成を行うほか、防犯灯省エネ対策事業や住宅用太陽光発電システム設置事業についても、引き

続き計上しています。

世界農業遺産推進事業では、「あえのこと実演委託料」を計上したほか、里山景観保全事業への助成も継続して計上しました。

「墓地公園管理費」では、水道設備の増設、駐車場の街灯整備を予定しています。「清掃費」では、衛生センター基本計画の策定費を計上しています。

土地改良事業では、町単土地改良事業として9地区の用排水路整備、5地区の農道集落道の舗装整備を予定しています。

「中山間地域等直接支払事業」多面的機能支払事業「環境保全型農業直接支払交付事業」「森林整備地域活動支援交付金事業」「流域育成林整備事業」および「松くい虫対策防除事業」なども農林水産業費に計上し、引き続き事業

母子保健費では、妊婦検診のほか、不妊、不育治療費補助金、未熟児療育医療事業の継続、食育推進計画見直しの諸経費を計上しました。

がん検診事業では、新たに、町単独の子宮頸がん・乳がん検診のほか、医療機関での肺がん検診を追加計上しています。

病院費では、外科外来処置室の増築工事をはじめ、看護師等確保対策として、新たにホームページ更新事業や看護師等修学資金貸付金の増額を図り、財政支援を行います。

町民の健康管理の事業や各特別会計の運営のための繰出金を予算化しています。

創造性と元気あふれるまちづくり

教育総務費では、障害のある児童生徒の学習支援などを行う特別支援教育支援員をはじめ、図書館との連携や読書意欲を高めて国語力の向上を図るために学校図書館指導員を配置したほか、情報通信技術を活用した授業における、

を進めます。

住民が連携・交流するまちづくり

町村合併から10周年を迎える大切な節目の機会を捉え、将来を見据えた夢と希望あふれる飛躍につながるよう、合併10周年記念事業を予定しており、記念式典や出版物等の諸経費を計上しました。

新たに少子化対策として、婚活支援事業を予定しています。婦人会の情報力を活用した出会いの場の提供など、縁結び隊を組織し活動費に助成する事業です。

防犯や生活環境の保全を図るため、放置された空き家の解体費について助成する「空き家解体事業」も新規に計上しました。

昨年の補正で計上した、町内会等が実施する高齢者宅などの除雪を行う除雪機購入費補助金についても、引き続き計上しました。

姉妹都市推進事業では、姉妹都市の流山市および小林市との親善・文化交流の促進を

電子機器のトラブル支援や操作支援を行う学校ICT支援員を配置しています。

「不登校対策」として、不登校対応アドバイザー派遣事業も継続して、諸経費を計上しています。

町の就学進路相談に対応するため、新たに機能検査用具の整備費を計上しました。

千葉県流山市との小学生交流事業、宮崎県小林市との中学生交流事業、外国語指導助手招致事業、各種大会への助成も引き続き行います。

小学校管理費では、中斉線、合鹿久田線の2台のスクールバスの入れ替えを予定しています。小中学校の通学費については、全額を補助対象とする基準に見直し、増額計上しました。

小中学校の教育振興費では、電子機器による教育支援ソフトや学習パソコンソフトの更新費を新たに計上しています。環境美化への関心や美しいまちづくりを推進する、「花いっぱい運動推進事業費」も継続計上しています。

図るため、交流事業に対する補助金を継続したほか、新たに長野県信濃町への表敬訪問を予定しており諸経費を計上しました。

企画調整費では、住民主体のまちづくり活動を支援し、さらなる活性化を図るため、公益信託能登町エンデバーファンド21への出捐金を計上しています。

地域振興費では流山市児童を対象にした「自然体験ツアー」の実施をはじめ、地域の魅力発見などの集落調査を行う「先駆的里山保全地区創出支援事業」、能登を大学のキャンパスと見立て、教育研究活動、地域貢献活動を通じ、地域活力向上や地域の人材育成を図る「能登キャンパス構想事業」、首都圏の大学と連携を図り交流人口の拡大や町内施設の活用を図る「地域再生事業」、能登町の観光や物産などを客観的に分析し、魅力ある情報発信を図る「地域資源利活用推進事業」などの地域振興事業を継続するほか、町内への定住促進を図る「ふるさと空き家活用事業」では、新た

学校建設費では、現在の鶴川中学校を大規模改造し、鶴川小学校にするための事業費を計上しています。

中学校管理費では、鶴川中の統合に伴い、スクールバス運行経費を計上しました。

中学校教育振興費では、各種大会派遣費において基準を見直し、補助金を増額計上しています。新規事業として、中学生の英語教育の充実を図るため、英語検定経費の公費助成を行う英語力向上対策事業を計上しました。

能登高等学校に対する支援では、制服購入、通学費、クラブ活動支援に加え、新たに進学率向上を図るため、公営塾を開設する予定です。

社会教育費では、町文化協会が10周年を迎えることから、記念事業に対する助成を計上したほか、遠島山公園の文化施設再整備の基本計画策定費を計上しています。

公民館費では、鶴川公民館、三波公民館の修繕費を計上したほか、地域の活性化や公民館活動の充実を図る「公民館



に「空き家見学ツアー」の実施を予定しています。

能登井のPR事業など、能登町の魅力ある素材を生かした地域振興を図るためのソフト事業を計上しています。

「域学連携合宿助成事業」は、大学生のみの合宿やゼミで、町内の宿泊に対する助成でしたが、「合宿助成事業」として改め、小中学生や高校生に対する、修学旅行・スポーツ合宿も助成要件に加え、増額計上しました。

新たに「地域おこし協力隊」の事業費を計上しました。都市圏の若者を「地域おこし協力隊」として委嘱し、地域の課題解決への取り組みや地域おこし活動の支援、農林水産業の応援、住民の生活支援等「地域協力活動」を行うなど、地域の元気を維持・強化に資する事業として取り入れ、計上したものです。

平成28年度以降の能登町第2次総合計画策定に係る諸経費を計上しています。

一般財産管理費では、能都庁舎の非常用発電装置の設

置、崎山山村開発センター、柳田山村開発センターおよび柳田情報センターの耐震補強工事をはじめ、町有地の測量調査費を計上したほか、庁舎等整備に係る財源の積み立てを行っています。

固定資産税の賦課業務を効率的に行う基礎資料整備費として、内浦地区および柳田地区の家屋図の作成を予定しています。

10周年という節目の年を迎え、夢と希望あふれる飛躍につながるよう、能登町としての成長・成熟期に向かい着実な歩みを進めていかなければならないと考えています。

能登町発展のため、未来の町づくりを見据えた取り組みを邁進していく所存ですので、ご理解とご協力を賜りますようお願いいたします。

平成26年度予算案の詳細は12ページから、生活に身近な制度の改正については16ページから紹介しています。あわせてご覧ください。

平成26年度 施政方針



平成26年度一般会計予算案など審議し、可決しました。

能登町議会第1回定例会は、3月6日に招集されました。会期を14日までの9日間と定め、平成26年度一般会計予算など町長提出議案58件が上程されました。

持木町長が平成26年度の施政方針と議案の提案理由を述べたあと、人事案件3件に同意。その後、11人が議案について質問し、各常任委員会に付託されました。

最終日の採決では、議案55件が原案のとおり可決されました。

■可決された平成26年度予算（13件）

- 一般会計予算
- 有線放送特別会計予算
- 国民健康保険特別会計予算
- 後期高齢者医療特別会計予算
- 介護保険特別会計予算
- 観光施設特別会計予算
- 公共下水道事業特別会計予算
- 農業集落排水事業特別会計予算

- 漁業集落排水事業特別会計予算
- 浄化槽整備推進事業特別会計予算
- 簡易水道特別会計予算
- 水道事業会計予算
- 病院事業会計予算

※26年度予算の詳細は、12ページ15ページを参照してください。

■可決された25年度補正予算（12件）

- 一般会計補正予算（第4号）▽歳入歳出それぞれ1億5142万5千円を減額し、総額を145億4507万3千円とする。主に決算を見込んだ事業費の増減による。

- 有線放送特別会計補正予算（第3号）・国民健康保険特別会計補正予算（第3号）・後期高齢者医療特別会計補正予算（第2号）・介護保険特別会計補正予算（第3号）・観光施設特別会計補正予算（第2号）・公共下水道事業特別会計補正予算（第3号）・農業集落排水事業特別会計補正予算（第2号）・浄化槽整備推進事業特別会計補正予算（第2号）・簡易水道特別会計補正予算（第2号）・水道事業会計補正予算（第1号）・病院事業会計補正予算（第2号）
- 一般職の任期付職員の採用等に関する条例の制定について▽専門知識・経

験を有する職員を、任期付きで採用する場合の規定を整備。

- 職員の旅費に関する条例の一部を改正する条例について▽家用用車使用時の車賃の額を実態にあわせる。
- 特別職の職員で非常勤のものの報酬及び費用弁償に関する条例の一部を改正する条例について

- 能登町消防団条例の一部を改正する条例について▽行財政改革によって一律10割減額されていた行政委員・消防団員の報酬を従前の額に引き上げる。
- 能登町営バス条例の一部を改正する条例について▽町営バスを利用し通学する中学生を無料に。
- 能登町立保育所条例の一部を改正する条例について▽入所児童減少により施設を整理統合する。

- 能登町障害程度区分認定審査会の委員の定数等を定める条例の一部を改正する条例について▽法の施行に伴い、障害程度区分審査会の規定を改正。
- 能登町立学校設置条例の一部を改正する条例について▽鶴川中学校の閉校と鶴川小学校の位置の変更。
- 能登町社会教育委員設置条例の一部を改正する条例について▽社会教育委員の委嘱基準を規定する。
- 能登町立公民館条例の一部を改正する条例について・能登町立図書館条例

の一部を改正する条例について・能登町観光・地域交流センター設置条例の制定について・能登町観光施設条例の一部を改正する条例について▽能登町観光・地域交流センター（通称・コンセールのと）の新設に伴う改正。

- 能登町研修施設条例の一部を改正する条例について▽内浦青少年の家を廃止。

- 能登町公園条例の一部を改正する条例について・町有財産（土地）の無償譲渡について▽うちうらビアパークを施設運営者の「社会福祉法人仏子園」に譲渡する。

- 能登町営住宅条例の一部を改正する条例について▽老朽化した八幡団地の用途を廃止。
- 能登町公共下水道条例の一部を改正する条例について・能登町集落排水施設条例の一部を改正する条例について・能登町浄化槽市町村整備推進事業の整備に関する条例の一部を改正する条例について▽消費税、地方消費税改正に伴い経過措置を規定。

- 能登町簡易水道事業の設置に関する条例の一部を改正する条例について・能登町水道事業給水条例の一部を改正する条例について▽水道事業、簡易水道事業の給水範囲を変更。
- 石川県市町議会議員公務災害補償等

組合規約の一部変更の協議について▽一部事務組合の構成団体増に伴う規約変更。

- 辺地に係る公共的施設の総合整備計画の策定について・辺地に係る公共的施設の総合整備計画の変更について▽辺地対策事業債を充当する事業が予定されているため、計画を変更する。
- 小字の区域及び名称変更について▽土地改良事業による区画変更で生じた小字を変更。

- 「請負契約の締結について（平成24年度社会資本整備総合交付金宇出津地区都市再生整備計画事業（仮称）能登町観光・地域交流センター新築工事（建築）」に係る議決の一部変更について▽工事請負契約の変更。請負金額に2千13万9千円を追加し、総額を5億2938万9千円とする。
- 町道路線の認定について▽4路線を町道に認定。

- 公の施設の指定管理者の指定について▽真脇ポーレポーレ・縄文真脇温泉浴場・真脇遺跡公園の指定管理者を「株式会社能登町ふれあい公社」に指定。
- 公の施設の指定管理者の指定について▽コンセールのとに設置する「能登観光情報ステーション たびスタ」の指定管理者を「株式会社能登町ふれあい公社」に指定。

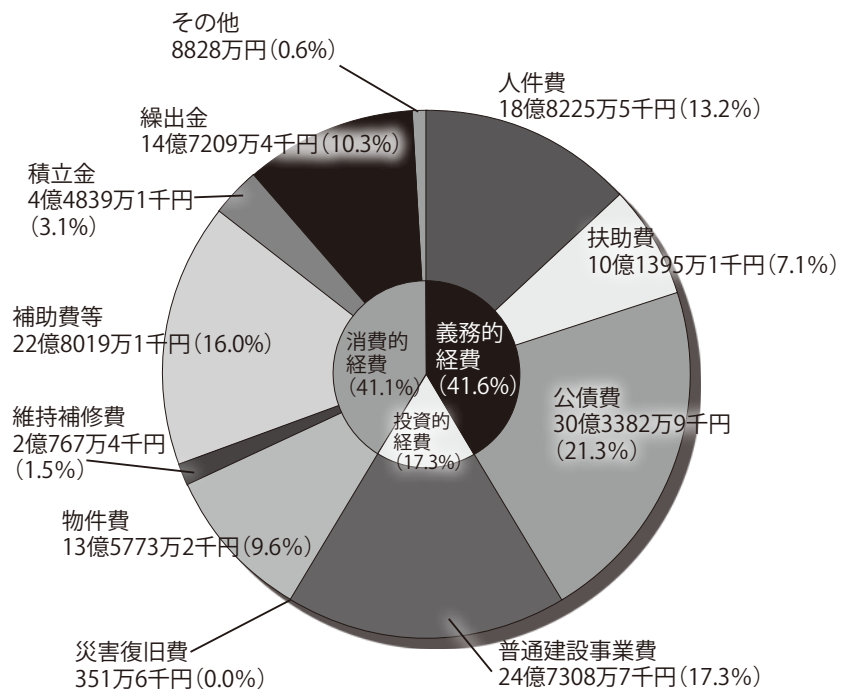
■議会基本条例制定特別委員会

委員長：大谷内義一

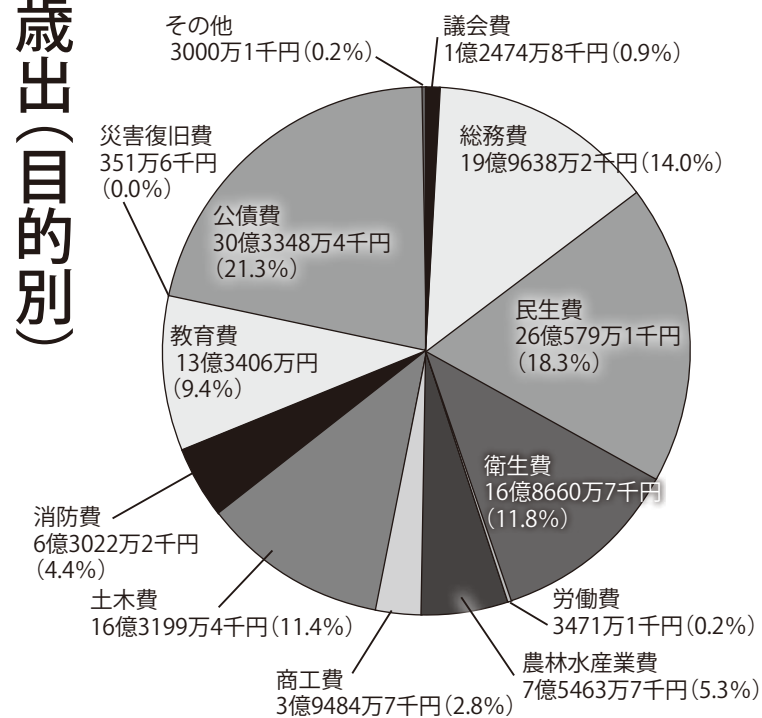
副委員長：久田良平

委員：金七祐太郎、國盛孝昭、酒元法子、南 正晴、向峠茂人、鶴野幸一郎、新平悠紀夫

歳出(性質別)



歳出（目的別）



事業の地域経済への影響と公債費負担適正化とのバランスを考慮しながら、計画的な発行に努めています。

歳出では、人件費、扶助費、公債費の義務的経費が総額 59 億 3,003 万円となり全体の 41.6%を占めました。そのうち人件費については、職員数の減などにより 7,417 万円減の 18 億 8,225 万円となっています。公債費は、地方債残高を減少させるための繰上償還金 3 億 9,716 万円を見込むほか、これまでの繰上償還の実施により 2 億 6,254 万円減の 30 億 3,382 万円となりました。

普通建設事業費は、新規事業として鶴川小学校の大規模改造事業を予定しているほか、観光案内サイン整備、体育施設改修事業、行政庁舎等改修事業などの増で、前年度より3億5,592万円増の24億7,308万円となりました。

物件費や補助費等を含む消費的経費は、前年度より1億3,511万円増の総額58億2,436万円となりました。能登町第2次総合計画の策定業務のほか、鶴川中学校統合に伴うスクールバス運転業務、防災行政無線調査業務などが増額となり、ほかにも別所岳サービスエリアの広域観光施設建設費や消防本部庁舎建設費などで奥能登広域圏事務組合の負担金が増額となりました。また、将来の行政庁舎等の整備のため、庁舎建設基金に2億5,000万円の積立を行います。

一般会計予算

142億6 100万円
(前年度比 1 億 7300 万円増)

合併 10 周年という節目の年を迎えた平成 26 年度当初予算は、成熟期を迎えた能登町の飛躍発展のため、新幹線開業に合わせた観光振興や広域公共交通対策、住民生活に直結した道路事業や農業基盤整備事業の強化のほか、子育て支援や教育環境の充実など、「防災・福祉・教育」のさらなる充実に力を入れた積極的な予算となっています。

歳入は、町税が前年度より4,178万円減の16億1,150万円を見込んでいます。納税義務者数の減や景気回復の波が地方に及んでいないことから、個人町民税と法人町民税の減額を見込んでいます。

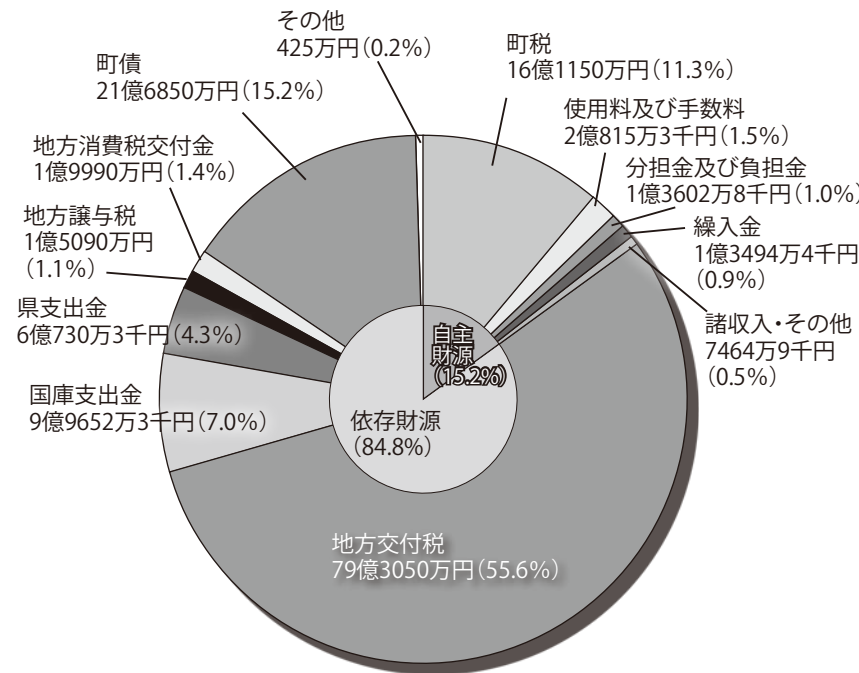
歳入全体の約 56%を占める地方交付税については、ほぼ前年同額となる 79 億 3,050 万円を見込んでいます。

国庫支出金・県支出金については、道路橋りょう新設改良事業や学校施設環境改善交付金などで増額となっていますが、地域の元氣臨時交付金、まちづくり交付金事業、漁業経営構造改善事業などの減によって1億92万円の減額となり、合計16億382万円を見込んでいます。

繰入金は、合併特例債を財源として造成した合併振興基金からの繰り入れにより、1億695万円増の1億3,494万円となりました。

町債においては、小学校大規模改造事業や観光振興対策事業、行政庁舎等改修事業などの増により２億１,９３０万円増の２１億６,８５０万円となりました。借金である町債は、公共

歳入



◆地方債残高

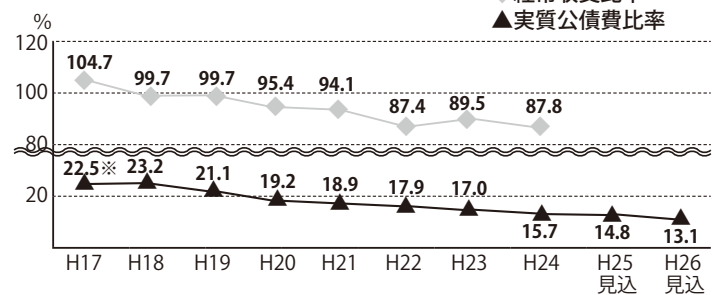
区分	平成 25 年度末（見込）	平成 26 年度（見込）
普通会計※	203 億 2595 万 6 千円	196 億 7810 万 1 千円
特別会計	114 億 6969 万 3 千円	112 億 2324 万 8 千円
企業会計	39 億 7566 万 千円	37 億 7748 万 3 千円
計	357 億 7130 万 9 千円	346 億 7883 万 2 千円

※一般会計と有線放送特別会計の合計

◆基金総額

区分	平成 25 年度末 (見込)	平成 26 年度 (見込)
一般会計	48 億 2041 万円	51 億 3385 万 9 千円

◆財政指標の推移



※実質公債費比率の H17 は制度改正後に置きかえると「23.9」

用語解説

【歳入】

自主財産…町税、分担金及び負担金、使用料、手数料、財産収入、繰入金、諸収入など自主的に収入する財産

依存財源… 地方交付税、国庫支出金、県支出金、地方譲与税、地方債など、国の意志により定められた額を交付されたり、割り当てられ
たりする収入

町税… 町民税、固定資産税など、皆
さんが納めた税金

繰入金…町の基金からの繰入金
諸収入…町税の延滞金など他の収入科目に含まれない収入
地方交付税…地域間の税源の不均衡を調整し、すべての地方公共団体が一定水準の行政サービスを提供できるようにするために、国が一般財源として配分する税

町債…資金調達などの長期借入金
 に対する国・県からの補助金など
 国庫支出金・県支出金…各種事業
 に対する国・県からの補助金など
 特別職給与、職員給など
 人件費…議員報酬、各種委員報酬、
 【歳出】

て、生活保護法、児童福祉法、老人

福祉法などに基つき、生活を維持するために支出される経費や各種扶助の経費

公債費…町債の元利償還金及び
時借入金の合算額
普通建設事業費…道路、学校など
公共用または公用施設の建設事業
に要する経費

物件費…臨時職員の賃金、需用費
(消耗品等)、役務費(郵便料、火災
保険などの保険料等)、備品購入費
など

補助費等…各種団体への補助金
や、奥能登クリーン組合や宇出津
総合病院への負担金など

繰出金…一般会計と特別会計または、特別会計相互間で支出される経費

【財政指数等】

基金・特定の目的のために資金を積み立てたり、定額の資金を運用するために設けられる資金または財産

經常収支比率・財政の弾力性を示す指標。数値が低いほど自由に見えるお金が多い

実質公債費比率…普通会計に企業会計や一部事務組合も含めた実質的な公債費への財政負担の程度を示す指標

会計別予算と 主要施策

区分		予算額	増減
一般会計		142億6100万円	1.2%
特別会計（合計）		75億7109万9千円	△2.0%
有線放送		2億1738万9千円	9.6%
国民健康保険		26億8516万1千円	△7.5%
	保険事業勘定	26億7847万5千円	△7.5%
	直営診療施設勘定	668万6千円	2.9%
後期高齢者医療		3億1001万4千円	1.3%
介護保険		28億2296万1千円	3.6%
	保険事業勘定	28億0593万6千円	4.1%
	サービス事業勘定	1702万5千円	△43.3%
観光施設		4789万3千円	△8.0%
公共下水道事業		5億4381万円	△1.2%
農業集落排水事業		3億3955万4千円	4.2%
漁業集落排水事業		4127万4千円	1.5%
浄化槽整備推進事業		6014万1千円	13.5%
簡易水道		5億0290万2千円	△11.6%
企業会計			
水道事業会計		9億4381万1千円	△13.9%
	収益的支出	5億5626万円	24.6%
	資本的支出	3億8755万1千円	△40.4%
病院事業会計		28億 617万4千円	△19.9%
	収益的支出	24億1021万3千円	△22.3%
	資本的支出	3億9596万1千円	△1.3%
予算合計		255億8208万4千円	△3.1%

▽防鳥ネットの整備によるブルーベリー栽培の振興
棚田保全対策支援事業

600万円

▽里山の維持保全と農業の担い手育成のため、農機具更新の一部助成（増額）
畜産事業事務費

214万4千円

▽能登牛生産体制整備事業。能登牛を増頭や施設整備に対して補助。
県営中山間地域総合整備事業

3703万2千円

▽柳田中央地区ほか
県営老朽ため池整備事業

1867万2千円

▽山中地区、五十里地区ほか
農村振興総合整備事業

1464万8千円

▽鈴ヶ嶺地区の暗渠工事ほか
農山漁村活性化プロジェクト支援事業

5681万円

▽鮭尾地区飲雑用水整備、小

③ 健やかでやさしい暮らしをめざすまちづくり

すこやかあかちゃんお祝い金

755万円

▽第1子7万円、第2子10万円、第3子には15万円を支給

間生地区紙すき体験施設整備に関する基礎調査
里山の駅プロジェクト

100万円

▽林地残材の回収の対価として地域通貨を発行。里山保全と地域産業活性化を図る
小規模近代化設備整備事業

800万円

▽県漁協能都支所鮮魚選別機ライン整備
商工業振興対策事業

2327万8千円

▽プレミアム商品券発行に対する補助ほか
能登杜氏の里プロジェクト事業

111万2千円

▽酒蔵と祭り神社を核とする「聖地巡盃」を旅行商品化
観光振興対策事業

1億2915万8千円

▽観光案内サインを町内統一
観光施設管理事業

▽たびスタ運営経費ほか

母子保健推進事業

1289万6千円

▽妊婦健診、不妊・不育治療補助金など

がん検診事業

1657万5千円

▽肺がん検診、子宮頸がん、乳がん検診を実施
すこやかまちづくり推進事業

120万2千円

▽健診受診者にクーポンを配布。受診率の向上を目指す
創造性と元氣溢れるまちづくり

④ 創造性と元氣溢れるまちづくり

特別支援教育支援員配置事業

1653万6千円

▽障害がある児童生徒の介助や学習支援を行う支援員配置
学校図書館指導員416万円

▽町内小中学校の図書館の環境を整備。読書を通じた国語力向上を目指す
児童生徒通学費補助事業

1260万3千円

▽小中学校の通学費の全額を補助対象にする
能登高校支援事業

1133万4千円

▽制服購入、通学、部活動を補助するほか公営塾を設置
ハートフルフレンド派遣事業

82万2千円

▽専門カウンセラーを派遣し、児童生徒の不登校の克服

① 潤いある暮らしを支える快適なまちづくり

地域安全推進費 9020万円

▽免許を自主返納した高齢者に1万円の商品券ほかを支給
生活交通対策事業

5966万円

▽珠洲市と共同で広域公共交通シャトルバス運行実証実験
防災総務費

4143万7千円

▽自主防災育成事業補助金、防災行政無線の情報伝達方式等の調査費等
道路橋りょう維持管理事業

1億506万円

▽道路河川愛護活動報奨金
町道橋りょう新設改良事業

2802万円

▽継続2路線（2級柳田3号線、上滝ノ坊1号線）
社会資本整備総合交付金事業

4億9310万2千円

▽新規1路線（松波2号線）、継続4路線（内浦長尾1号線

ほか）、舗装補修、災害防除道整備交付金事業

1億8815万6千円

▽新規1路線（2級宇出津藤波1号線）、継続3路線（神和住中斉2号線ほか）
河川総務事務費

458万9千円

▽土砂災害ハザードマップ作成経費ほか
駅山手線街路整備事業

3001万5千円

▽旧宇出津駅山手線街路整備
まちづくり交付金事業

7148万6千円

▽旧宇出津駅周辺整備、情報案内板整備等
奥能登広域圏事務組合負担金（消防費）

4億9497万8千円

▽奥能登広域圏消防本部庁舎、司令センター、デジタル無線整備負担金等

6 次産業化可能性調査

200万円

▽農林水産業の優良経営と活性化を目指し、生産から販売

までを一貫して行う「6次産業化」の可能性調査を実施
産地競争力強化事業

101万9千円

② 地の恵みを糧とする活力あるまちづくり

⑥ 住民が連携・交流するまちづくり

合併10周年記念事業

312万7千円

▽記念式典、表彰、記念誌刊行、町民からの記念事業募集
空き家等解体事業100万円

▽放置されて危険な状態の建物の解体費用を助成
婚活支援事業

100万円

▽「能登町縁結び隊」を組織。婦人団体協議会の組織力を活用して婚活を支援
企画調整事業

1461万4千円

▽エンデバーファンド21出捐金ほか
地域振興費2142万3千円

▽「地域おこし協力隊」2人を受け入れ地域振興を図る
高度通信網の活用と健全な行財政のまちづくり

奥能登広域圏事務組合負担金

7669万5千円

▽里山海道・別所岳サービスエリア広域観光施設の負担金
賦課徴収事務費・収納対策費

5310万1千円

▽奥能登地区滞納整理機構
庁舎建設基金積立

2億5千万円